

公明ひらつか

地域活性化で、より住み続け
たくなるまち平塚に

石田 美雪 議員

問 国は中小企業への支援策の強化方針を出している。本市も継続して支援をするべきではないか。

市長 脱炭素化を促進する設備投資など、中小企業の事業継続につながる支援については、引き続きしっかりと取り組んでいきたい。

問 平塚駅周辺地区将来構想は、柔軟な発想のもとで策定に取り組み、市民が誇りを持てる中心市街地を目指すべきだが見解を伺う。

市長 平塚駅周辺地区将来構想の策定は、市民が中心市街地に対して誇りを持ち、民間のまちづくりへの投資意欲を高め、官民連携による再開発の誘導など、持続可能な中心市街地の活性化が実現できると考えている。

子育て支援

問 出産・子育て応援ギフトの支給方法を伺う。

市長 スターライトマネーまたは現金で支給する。スターライトマネーを選択した人には支給金額の上乗せを検討する。

医療的ケア児支援

問 医療的ケア児の保護者の離職や地域差をなくすため、早急に制度の拡充、見直しが必要と考えるが、見

環境を整備し、寄り添う支援が必要だが見解を伺う。

市長 消費生活センターの窓口では随時高齢者に寄り添い相談を受け付け、解決に向けた支援に努めている。今後も相談窓口のPRや啓発を積極的に進めていく。

幼児バスの安全対策

問 本市で運行している幼児バスの安全対策や安全管理マニュアルの整備状況を伺う。

市長 安全対策だが、現時点ではバス通園を行っている幼稚園、認定こども園及び認可外保育施設で保有するバスは安全対策装置は取り付けられていない。安全管理マニュアルはバスを保有する20園全てが整備済みとなっている。

問 (仮称)土沢認定こども園設置運営法人候補者の募集に応募がなかったと聞いた。保育ニーズはあると思うが今後の対応を伺う。

健康・こども部長 今後については検討をし、できるだけ早急に結論を出せるように進めていく。

超高齢化社会への対応

問 高齢者が安心してスマートフォンを利用できる

問 市民の健康づくりを推進するため、年齢を拡充し若年層にも健康診断を実施してはどうかと思うが見解を伺う。

健康・こども部長 まずは開始したばかりの35歳健診を検証し、その後、他市の好事例も参考に研究を進めていく。

問 がん検診の受診率向上に向けて、受診年齢の適正

問 本市が人身事故発生件数県内1位になったことへの見解と、事故状況の分析と対策について伺う。

交通政策担当部長 高齢者の自転車利用中の事故が多発している。傾向としては交差点での出会い頭の事故が最も多くなっており、広

報ひらつかでの特集や自治会回覧などを通じて自転車利用の注意の周知を図った。引き続きさまざまな機会を通じて交通安全意識を高める取り組みを行う。

問 競輪場を運営する自治体では、警察と協議しながら交通安全キャンペーンを行っている事例があり、競輪選手が子供たちに自転車の乗り方を指導するなどの安全活動を行っている。本市でも行うべきではないか。

交通政策担当部長 競輪場との連携は警察と検討しており、実現可能なものは取り入れていきたい。



交通事故ゼロを目指して 上野 仁志 議員

100年ライフに向けた政策ビジョン

問 本市では言語習得のために18歳未満の軽度・中等度難聴児に補聴器購入助成を行っているが、高齢者にも助成を行っているかどうか。

福祉部長 市民ニーズの状況や国・近隣自治体などの動向、先進市の実績などをしっかりと見て考えていく。

問 高齢者の新たな足となる交通網の充実が求められるが、新たなコミュニティ交通網の整備状況を伺う。

福祉部長 地域ニーズを踏まえ、バス路線の再編や路線バスを補完するコミュニティ交通の導入などを地域とともに検討していく。

問 令和2年11月の自家用

りのあるケアマネージャーや民生委員などが福祉と防災の両面から計画を立案すべきと思うが、見解を伺う。

福祉部長 ケアマネージャーは要支援者の状況を一番よく把握しているため、個別計画の策定に関わることは意義がある。先進事例を十分検証し、考えていきたい。

問 避難行動要支援者の個別計画の策定は、普段関わ

有償旅客運送制度の改正で自治体主導のコミュニティ交通を形成出来るようになったが、取り入れていくべきではないか。

福祉部長 本市で取り組んでいるのは福祉有償運送のみである。

問 新たなコミュニティ交通の形成に活用できるが見解を伺う。

交通政策担当部長 福祉部とは定期的な意見交換を行い、より良いものを作っていくとされており、その中で検討し、可能なものは取り入れていきたい。

このほかの質問 教育現場のデジタル化とプログラミング教育について

公明ひらつか 所属議員 秋澤 雅久 議員 鈴木 晴男 議員

インターネット中継 本会議は、インターネットで生中継と録画中継を行っています。各議員の質問内容を詳しく知りたい方は市議会ホームページからアクセスしてください。録画中継は発言日のおおむね1週間後から、会議録をホームページに掲載するまでの間、ご覧いただけます。



常任委員会の審査概要

今定例会に上程された議案は所管の常任委員会に付託して審査しました。常任委員会の主な質疑を紹介します。

総務経済 議案9案件は全て原案どおり可決すべきもの又は承認すべきものと決定しました。 ○議案第77号 平塚市市税条例の一部を改正する条例 問 税金が上がることでとらわれて改正するのではなく、企業や市民の活動が活発化するなど役立つ改正でなければならない。税金が上がることで障害になって活動が委縮してしまうのではなんの役にも立たないが、見解を伺う。

答 条例改正の際には、改正の趣旨を踏まえるとともに、影響の範囲などをよく確認しながら対応していきたいと思っている。 ○議案第84号 令和4年度平塚市一般会計補正予算 問 農地費の農道・用排水路維持管理事業について、境界が未確定の農道境界確定を行うための増額補正とのことだが、実施する理由を伺う。 答 大島地区の認定外道路に隣接する地権者から宅地の相続などがあり、市道と宅地の境界を明確に

したいとの依頼があった。この路線は、道路整備は完了しているが道路境界の確定がされていなかったため、地権者からの依頼で道路確定図作成を行うことになった。 問 小規模土地改良整備支援事業について、農業水利施設修繕費を一部助成する場所を伺う。 答 大神と吉際を流れる笠張川に設置されている吉際堰のオイル交換などを含めた設備点検と、小鍋島の辺りを流れる新川に設置している久橋堰の近くのポンプ部品交換の2か所になる。

○議案第85号 令和4年度平塚市競輪事業特別会計補正予算 問 施設整備基本計画は、10年前に計画を立てているもので、その一部改訂で1400万円もの金額が動いていると思うが、改訂がこのタイミングだった理由を伺う。 答 本来であれば、メインスタンドができて数年間で手掛ければよかったが、いろいろな状況を踏まえながらバックスタンドを手掛けていこうという流れというか、その辺りの資金繰りも踏まえて、今のタイミングとなっている。